

# 神奈川県における旧石器時代の遺物分布(その2)

## —L1S層～L1H層(2)—

旧石器時代研究プロジェクトチーム

### はじめに

昨年度に引き続き当該出土層位の分布状態を集成した。

県内のL1S(ソフトローム)層は台地から丘陵において広く分布するが、岩相は相模川を挟みその東西で大きく様相を違えている。出土遺物は縄文時代草創期から旧石器時代最末期に該当し、風化土壌の給源である富士箱根山系に近づくに従い、層厚の漸増と、スコリア粒の肥大化と相まって、FB(富士黒色土)層最下底からL1S層は漸次硬化する。その間の漸移層も不整合面の特徴を示しながら、「硬質の柔らかいローム層」という相矛盾したL1S層となる。とりわけ相模川以西ではL1S層からB0層への漸移層、B0層からL1H層への漸移層を上下層と同程度の層厚の分層が可能である。

今年度の集成は一覧表のみであり、次年度以降に集成した基礎データに基づき種々総括することとなる。項目名など表記の仕方は前年度の内容を継承継続している。

なお、集計は55遺跡、363ヶ所の集中地点、出土点数103,447点におよぶ。分布密度では、1.4㎡の範囲から394点の剥片・碎片が出土した藤沢市南鍛冶山遺跡の漸移層上部の密集度が最も高く、1㎡あたり292点を数える。分布密度100点以上では、細石刃ならびに槍先形尖頭器の製作址、あるいは残核や特定器種の集積といった状況を示す。

(砂田佳弘)

L1S～L1H層の遺物分布(その2-1)

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成 ※1	石材組成 ※2	備考(共伴する遺構・ など)
96	寺尾	L1S	I	1200	1	1.5×1.0	6	4.00	散漫	槍、斧、砕	凝安	槍の製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	2	3.5×1.0	5	1.43	散漫	リタツチャー、剥、 砕	凝安、珪岩	槍の中心的な製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	3	1.3×1.0	51	39.23	密集	剥、砕	安	槍の製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	4	2.2×2.0	45	10.23	やや 密集	槍、MB、削、叩、剥、 砕	凝、粘、安、珪岩	槍の製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	5	2.0×1.5	21	7.00	やや 密集	槍、剥、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	槍の製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	6	2.0×1.0	12	6.00	散漫	槍、剥、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	槍の製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	7	4.0×2.0	30	3.75	密集	槍、斧、剥、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	礫器3点が点在
96	寺尾	L1S	I	1200	8	1.0×0.6	8	13.33	散漫	砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	11点中8点が同一母岩 で接合
96	寺尾	L1S	I	1200	9	1.6×1.3	64	30.77	散漫	槍、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	10	2.5×2.0	28	5.60	散漫	槍、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	礫石器の集積
96	寺尾	L1S	I	1200	11	4.5×4.5	53	2.62	散漫	槍、MB、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	槍の製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	12	0.8×0.7	6	10.71	散漫	槍、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	13	4.0×3.0	52	4.33	散漫	槍、MB、RF、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	14	5.0×2.5	53	4.24	散漫	槍、UF、砕	珪、凝、粘、安、砂、 黒	

L1S～L1H層の遺物分布（その2～3）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (m <sup>2</sup> )	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共伴する遺構・ など）
96	寺尾	L1S	I	1200	15	1.0×0.5	7	14.00	散漫	砕	チ、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	16	1.2×1.2	56	38.89	密集	槍、砕	チ、凝、粘、安、砂、 黒	槍の製作場
96	寺尾	L1S	I	1200	17	2.5×1.5	31	8.27	散漫	槍、MB、砕	チ、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	18	4.5×2.2	60	29.33	密集	槍、斧、MB、剥、砕	チ、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	19	1.5×0.8	9	0.91	散漫	槍、砕	チ、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	20	5.5×3.2	473	26.88	密集	槍、斧、舟底、削、 核、UF、剥、砕	チ、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1S	I	1200	21	4.5×1.5	33	4.89	散漫	槍、剥、砕	チ、凝、粘、安、砂、 黒	
96	寺尾	L1H	II	1200	1	5.0×3.2	56	3.50	散漫	槍、削、RF、核、 F、C	黒、チ、粘、硬 砂、玄（安？）、 凝	礫群3
96	寺尾	L1H	II	1200	2	2.5×2.0	17	3.40	散漫	削、C	黒、チ、粘、硬 砂、玄（安？）、 凝	礫群3
96	寺尾	L1H	II	1200	3	7.0×3.0	67	3.19	散漫	槍、RF、UF、核、 F、C	黒、チ、粘、硬 砂、玄（安？）、 凝	礫群3
96	寺尾	L1H	II	1200	4	8.0×2.0	55	3.44	散漫	槍、RF、UF、F、C	黒、チ、粘、硬 砂、玄（安？）、 凝	礫群3
96	寺尾	L1H	II	1200	5	6.0×2.0	9	0.75	散漫	槍、ナ、削、RF、 F、C	黒、チ、粘、硬 砂、玄（安？）、 凝	礫群3
97	報恩寺	L1S～ B0	旧	120	1	2.0×1.0	5	2.50	散漫	MC、ナ？	不明	
97	報恩寺	L1S～ B1	旧	120	2	12.0×9.0	478	4.43	密集	MB、MC、搔、錐、 RF、UF、核	黒、チ、水、凝、砂、 安	
98	宮久保	B0～ L1H	—	26470	1	5.6×2.4	14	1.04	散漫	調整F、F	泥	G12区
98	宮久保	B0～ L1H	—	26470	2	1.6×0.8	4	3.13	散漫	核、F	泥、砂、粘、黒	G13区
98	宮久保	L1H	—	26470	1	2.4×1.6	5	1.30	散漫	核、叩	泥、粘、花、結晶 片岩	F11区、礫群
99	早川天神森	B0L～ L1HL	II	3850	1	3.0×2.0	10	10.00	散漫	F、C	黒、安	礫1、礫片7
99	早川天神森	B0L～ L1HL	II	3850	2	1.0×0.2	2	—	散漫	槍、C	黒、玄	
99	早川天神森	L1H～ B1	III	3850	1	3.0×1.0	1	0.33	点在	核	黒	槍の製作場 礫3 礫 群
99	早川天神森	L1H～ B1	III	3850	2	6.0×4.0	22	0.92	密集	ナ、搔、F類、石槌	黒、粗粒凝	槍の製作場
100	吉岡A区	FBL～ 漸移	—	31090	—	80.0×10.0	862	1.08	密集	槍F、打斧F、局磨F	凝、安、ホ、チ、頁 、黒	製品主体の分布
100	吉岡A区	L1SU	—	31090	1	20.0×10.0	26	0.13	散漫	槍末、槍作出F	凝、安	槍の製作場
100	吉岡A区	L1SU	—	31090	2	190.0× 210.0	10	—	散漫	槍末、槍作出F	凝、安	
100	吉岡A区	L1H	—	31090	—	6.0×3.0	43	0.41	やや 密	F、C、叩	黒、砂	
101	吉岡B区	L1SU	—	28690	1	4.0×3.0	3618	69.57	密集	槍、MB、MC、原材、 調整F	黒	細石刃の製作跡
101	吉岡B区	L1SU	—	28690	2	4.0×3.0	3618	69.57	密集	槍、MB、MC、原材、 調整F	黒	細石刃の製作跡
101	吉岡B区	L1SU	—	28690	3	4.0×3.0	3618	69.57	密集	槍、MB、MC、原材、 調整F	黒	細石刃の製作跡
101	吉岡B区	L1SU	—	28690	4	4.0×3.0	3618	69.57	密集	槍、MB、MC、原材、 調整F	黒	細石刃の製作跡

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その2）

L1S～L1H層の遺物分布（その2-3）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（相伴する遺構・ など）
101	吉岡B区	FBL～ 漸移	草2	—	1	20.0×10.0	31	0.16	密集	槍、鏃、磨、RF、UF、 F	凝、ホ、安、黒	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	1	4.0×3.0	7	0.58	散漫	槍、鏃、叩、RF、F、C	凝、ホ、頁、安、細 粒閃緑岩	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	2	3.7×2.3	38	4.47	密集	槍、台、F、C	凝、ホ、頁	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	3	3.1×2.5	7	0.90	散漫	槍、F、C	凝、ホ、珪頁、細 粒安	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	4	3.2×2.8	5	0.56	散漫	MB、槍、F	珪、ホ、黒頁、黒	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	5	2.7×1.3	8	2.28	散漫	槍、鏃、削、F、C	凝、珪、ホ、安、細 粒安	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	6	5.4×4.9	15	0.57	散漫	槍、礫器、叩、台、F	凝、珪、ホ、黒頁	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	7	10.2×7.8	174	2.19	密集	槍、局磨、楔、鏃、叩、 礫器、台、UF、F	凝、珪、ホ、黒頁、 珪頁、硬頁、 安、細粒安、斑 礫	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	8	3.2×2.2	21	2.98	散漫	槍、調整器、F、C	凝、珪、ホ、黒頁、珪 頁、硬頁、砂岩	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	9	0.9×0.3	7	25.93	密集	槍、F、C	珪、黒頁、頁	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	10	1.8×1.6	15	5.21	密集	槍、F、C	凝、珪、黒頁、頁	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	11	9.1×8.5	552	7.14	密集	槍、RF、叩、F、C	凝、珪、ホ、黒頁、 珪頁、硬頁、頁、 安、細粒安、斑 礫、流紋、細閃	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	12	2.2×1.2	7	2.65	散漫	F	珪、ホ、黒頁	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	13	1.8×0.3	5	9.26	散漫	槍、UF、F、C	凝、黒頁	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	14	2.6×2.0	8	1.54	散漫	槍、RF、叩、F	凝、珪、黒頁、頁	
102	吉岡C区	FB～ L1S	草	36000	15	3.5×1.2	4	0.95	散漫	有舌、鏃、叩、C	凝、安、細粒安	
102	吉岡C区	B0	B0	36000	1	3.9×2.3	35	3.90	密集	楔、核、叩、礫器、 RF、F、C	凝、安、ホ、黒、閃	
102	吉岡C区	B0	B0	36000	2	4.9×3.7	20	1.10	散漫	核、礫器、礫器原 形、台、F	凝、安、ホ、珪頁	
102	吉岡C区	B0	B0	36000	3	2.6×0.7	5	2.75	散漫	礫器、F	ホ、黒	
102	吉岡C区	B0	B0	36000	4	1.0×0.4	3	7.50	散漫	核、F	凝、ホ	
103	吉岡D区	FB	草	42810	1	4.6×4.1	4	0.21	散漫	槍、有、打斧、叩	ホ、凝、安	隆線文
103	吉岡D区	FB	草	42810	2	10.9×4.7	5	0.10	散漫	槍、削、F	凝、安	
103	吉岡D区	FB	草	42810	3	3.5×2.1	7	0.95	散漫	核、F	凝	
103	吉岡D区	FB	草	42810	4	4.1×0.9	6	1.63	密集	礫斧、礫、打斧、埋 納蓋石	ホ、閃、凝灰角 礫岩	埋納遺構、土坑、溝状 遺構
103	吉岡D区	B0	B0	42810	1	6.3×3.6	17	0.75	散漫	MC、MB、F、C	珪頁、硬頁、珪 頁、ホ	
103	吉岡D区	B0	B0	42810	2	2.6×1.3	10	2.96	散漫	MC、礫、F、C	凝、流、黒、珪頁	
103	吉岡D区	B0	B0	42810	3	7.4×6.0	52	1.17	密集	MC、MC素材、MB、 搔、削片、UF、F、C、 叩	凝、流、硬頁、珪 頁、珪、ホ、珪質 岩	
103	吉岡D区	B0	B0	42810	4	3.5×2.1	60	8.16	密集	MC素材、MB、削 片、F、C	黒	
103	吉岡D区	B0	B0	42810	5	6.7×2.0	7	0.52	散漫	F、楔、UF、C	ホ、黒	

L1S～L1H層の遺物分布（その2～4）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共存する遺構・ など）
103	吉岡D区	L1H	I	42810	1	5.7×2.3	43	3.28	密集	ナ、MB、MC素材、 削、鏃、UF、FC、核	黒、安、チ、ホ	
103	吉岡D区	L1H	I	42810	2	2.8×1.6	14	3.13	密集	MC素材、鏃、UF、 F、C	黒	
104	吉岡E区	漸移～ L1S	—	16550	—	200.0× 250.0	2	—	散漫	礫器、磨石	硬細凝、安	
107	今田	V～B0	I	1400	1	2.2×2.0	10	2.27	散漫	槍1、7/1、F5、礫器 3	砂3、凝2、黒1、チ 1、泥1、他2	
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	B	—	2	—	散漫?	F2	粘2	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	C	2.2×1.2	3	1.14	散漫?	F3	粘3	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	D	2.6×1.8	2	0.43	散漫?	槍1、残核1	安1、粘1	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	E	1.4×0.8	3	2.68	散漫?	F1、C2	粘3	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	G	1.4×0.6	2	2.38	散漫?	F2	粘2	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	I	0.9×0.9	2	2.47	散漫?	F2	粘2	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	K	7.0×2.4	3	0.18	散漫?	有1、F1、C1	粘2、珪頁1	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	L	4.0×1.0	3	0.75	散漫?	F2、C1	チ3	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	M	1.8×1.2	3	1.39	散漫?	礫器3	砂2、凝1	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	N	3.6×2.0	5	0.69	散漫?	搔1、F3、残核1	粘4、珪頁1	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	FB～ L1S	I	18750	O	2.0×1.0	2	1.00	散漫?	F2	粘1、安1	土坑1、礫群2、礫集中 隆線文
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	A	1.4×0.8	2	1.79	散漫?	F2	凝2	礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	B	4.0×3.0	32	2.67	やや 密	MB5、MC1、UF4、 F14、C7、残核1	粘11、安8、黒5、 チ2、凝2、頁2	礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	C	2.8×2.6	10	1.37	散漫?	MB4、MC1、F3、C2	安4、黒3、チ2、凝 1	礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	D	4.0×2.0	11	1.38	散漫?	MB2、MC1、 RF1、F3、C3	粘3、凝3、黒1、安 1、頁1、チ1	礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	E	2.0×1.4	3	1.07	散漫?	F2、C1	凝2、粘1	礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	F	5.2×1.2	3	0.48	散漫?	F2、C1	粘2、チ1	礫群（第2集中）と一部 重複 礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	G	4.4×1.6	4	0.57	散漫?	叩1、F3	安3、凝1	礫群（第8集中）と一部 重複 礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	H	2.6×2.0	5	0.96	散漫?	F1、C4	安5	礫群（第3集中）と一部 重複 礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	I	3.0×1.0	6	2.00	散漫?	RF1、F5	粘6	礫群（第4集中）と一部 重複 礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	J	2.4×1.0	2	0.83	散漫?	F2	頁1、安1	F：調整剥片1点を含む 礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	K	1.0×0.9	2	2.22	散漫?	RF1、F1	安2	礫群（第1集中）と一部 重複 礫群8
109	代官山	L1SL ～B0U	II	18750	L	1.5×1.0	2	1.33	散漫?	MB1、C1	黒2	礫群8
109	代官山	B0L～ L1H	III	18750	A	7.0×5.4	147	3.89	やや 密集?	MB76、MC4、 MM1、SF40、 SC5、FF1、UF1、 F5、C13	黒146	B2・C集中と接合
109	代官山	B0L～ L1H	III	18750	B1	3.0×3.0	151	16.78	密集?	MB97、MC3、 MM1、SF24、 SC1、F11、C15	黒152	B2・C・D集中と接合 礫群（第2集中）と重複

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その2）

L1S～L1H層の遺物分布（その2～5）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共存する遺構・ など）
109	代官山	B0L～ L1H	Ⅲ	18750	B2	3.0×2.8	231	27.50	密集?	MB72,MC14,MM 2,MF1,RM2,SF 79,SC6,FF7,UF 1,UF1,F14,C32	黒231	A・B1・C・D・E集中と 接合 礫群(第3集中と 重複)
109	代官山	B0L～ L1H	Ⅲ	18750	C	6.6×4.0	192	7.27	やや 密集?	MB123,MC5,RM 1,SF22,SC2,FF3, UF1,F6,C30	黒193	A・B1・B2・D集中と接 合 礫群(第1集中と重 複)
109	代官山	B0L～ L1H	Ⅲ	18750	D	7.0×5.4	29	0.77	散漫?	MB13、MC3、 RM1、SF4、FF1、 F2、C3	黒27	B1・B2・C集中と接合
109	代官山	B0L～ L1H	Ⅲ	18750	E	2.4×2.0	14	2.92	散漫?	MB12、RM1、 SF1、C1	黒15	B2集中と接合
109	代官山	B0L～ L1H	Ⅲ	18750	F	2.4×2.4	4	0.69	散漫?	RM2、SF1、C1	黒4	
109	代官山	B0L～ L1H	Ⅲ	18750	G	4.8×3.8	71	3.89	散漫?	MC1、RF1、 UF2、F12、C44、 槍5、PC6	黒71	
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	A	3.0×2.0	4	(0.70)	散漫?	ナ1、槍2、CF1	黒4	B～E集中と隣接 D集 中と一部重複 炭化物 集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	B	5.6×3.6	202	(10.00)	密集?	ナ3、槍8、削1、 Sr1、RF8、UF1、 CF1、RC13、 F36、C129、残核 1	黒200、凝1、頁1	A・C～E集中と隣接C 集中と重複 炭化物集 中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	C	7.8×5.6	13	(0.30)	散漫?	錐1、礫器2、 RF1、CF1、RC1、 F2、C5	黒11、凝1、砂1	A・B・D・E集中と隣接 B集中と重複 炭化物 集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	D	4.4×2.4	15	1.42	散漫?	ナ1、槍2、CF3、 RC2、F1、C6	黒15	A～C・E集中と隣接 A集中と一部重複 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	E	2.0×1.2	2	0.83	散漫?	ナ1、F1	黒2	A～D集中と隣接 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	F	4.0×2.0	5	0.63	散漫?	ナ1、槍1、CF1、 F1、C1	黒5	炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	G	2.8×1.6	7	1.56	散漫?	RF1、F2、C4	黒7	炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	H	3.2×1.2	4	1.04	散漫?	ナ2、搔1、叩1	黒1、珪頁1、凝1、 砂1	I～L集中と隣接 礫集 中1・4と隣接 炭化物 集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	I	2.0×1.4	3	1.07	散漫?	F1、C2	黒3	H・J～L集中と隣接 礫集中1・4と隣接 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	J	3.2×2.4	19	(2.50)	やや 散漫?	ナ2、RF2、UF2、 CF1、F9、C3	黒18、頁1	H・I・K・L集中と隣接 礫集中4・5と隣接 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	K	5.4×2.8	15	0.99	やや 散漫?	ナ4、削1、RF1、 F8、C1	珪頁12、黒3	H～J・L集中と隣接 礫集中4・5と隣接 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	L	2.0×1.0	4	2.00	散漫?	ナ2、F2	黒2、頁1、珪頁1	H～K集中と隣接 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	M	4.4×3.0	4	0.30	散漫?	CF1、F2、C1	珪頁4	炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	N	3.2×3.2	6	0.59	散漫?	ナ2、UF2、F1、C1	黒5、珪頁1	礫集中1・2と隣接 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	O	3.8×3.8	4	0.28	散漫?	F4	頁4	礫集中2と隣接 礫集 中3とは重複 炭化物 集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	P	2.8×1.2	3	0.89	散漫?	F3	粘3	炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	Q	3.2×1.2	3	0.78	散漫?	RF1、UF1、F1	凝2、黒1	R～W集中と隣接 礫 集中7～11と隣接 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	Ⅳ	18750	R	(3.2)×(1.4)	26	(5.80)	やや 散漫?	ナ1、叩1、RF1、 CF1、F8、C14	凝23、黒3	Q・S～W集中、礫集中7 ～11と隣接・重複 S～U・W集中間と接合 関係 炭化物集中

L1S～L1H層の遺物分布（その2～6）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共存する遺構・ など）
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	S	(2.8)×(1.4)	6	(1.50)	散漫?	ナ2、UF2、F2	頁4、黒1、凝1	Q・R・T～W集中、礫集中7～11と隣接・重複 R・T・U・W集中間と接 合関係あり 炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	T	—	13	—	—	ナ2、叩1、UF4、 F3、C2、残核1	黒7、凝2、頁2、チ 1、砂1	Q～S・U～W集中、礫 集中7～11と隣接・重複 R・S・U・W集中間と接 合関係あり 炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	U	—	45	—	—	ナ2、叩2、RF4、 RC2、F19、C15、 残核1	黒30、凝5、頁5、 珪頁3、砂2	Q～T・V・W集中、礫集中 7～11と隣接・重複 R～T・W集中間と接合 関係あり 炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	V	—	12	—	—	ナ3、搔1、UF3、 CF1、F2、C1、残 核1	黒10、凝1、頁1	Q～U・W集中、礫集中 7～11と隣接・重複 炭 化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	W	(2.0)×(1.4)	14	(5.00)	やや 散漫?	ナ2、RF2、F6、C3、 残核1	凝10、黒4	Q～V集中、礫集中7～ 11と隣接・重複 R～U 集中間と接合関係あり 炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	X	4.4×2.4	3	0.28	散漫?	ナ1、檜1、搔1	黒2、凝1	炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	Y	3.4×1.6	3	0.55	散漫?	F2、C1	黒3	炭化物集中
109	代官山	L1HL ～B1U	IV	18750	Z	—	(2)	—	やや 散漫	(F1、残核1)	(安2)	炭化物集中
111	南鍛冶山	漸U	草	49700	1	1.5×0.9	394	291.85	密集	F142、C252	頁312、その他 82	本集中内に1・2号住居 状遺構、1～3号礫集中、 1・2号配石、1・2号 炭化物集中、集中あり 隆線文71
111	南鍛冶山	漸	草	49700	2	5.0×2.0	6	0.60	散漫	F6	チ6	
111	南鍛冶山	B0	先	49700	0507	8.1×3.0	20	0.82	やや 散漫	MC1、削1、RF1、 F10、C3、礫器1、 石核1	黒13、珪頁2、珪 頁1、チ1、千1	
111	南鍛冶山	B0	先	49700	0702	0.2×0.2	2	50.00	密集	F1、礫器1	砂2	
111	南鍛冶山	B0～ L1H	先	49700	0201	6.8×4.4	15	0.50	やや 密集	ナ3、F6、C5、石核1	黒12、珪頁3	礫集中と一部重複 炭 化物の集中と隣接
111	南鍛冶山	B0～ L1HU	先	49700	0202	4.1×2.3	5	0.53	散漫	F4、C1	黒4、頁1	2ヶ所の礫集中と重複
111	南鍛冶山	L1HM ～L	先	49700	0203	7.4×4.4	31	0.95	やや 密集	F30、石核1	珪頁30、流1	4ヶ所の礫集中、炭化材 分布と一部重複
111	南鍛冶山	B0～ L1H	先	49700	0402	4.8×4.6	12	0.54	散漫	ナ1、F10、C1	黒7、珪頁2、頁1、 チ2	2ヶ所の礫集中のうち 1ヶ所とほぼ重複、炭化 物分布とも重複
111	南鍛冶山	L1H～ B1	先	49700	0506	7.3×7.1	39	0.75	やや 散漫	ナ2、F36、石核1	頁24、玄9、凝頁 5、黒1	礫集中と重複
111	南鍛冶山	L1H～ B1	先	49700	0505	27.8×21.2	962	1.63	密集	ナ38、削3、 RF17、F634、 C268、石核2	黒910、珪頁36、 頁8、チ3、玄3、凝 頁1、凝1	炭化物分布と重複
111	南鍛冶山	L1H～ B1	先	49700	0401	10.2×8.5	1084	12.50	密集	ナ81、削3、 RF19、F624、 C350、石核7	黒1083、ホ1	礫集中と重複
111	南鍛冶山	L1H	先	49700	0504	3.8×0.9	4	1.17	散漫	ナ1、F1、C1、石核 1	黒4	
116	南葛野	Ⅲa～ Ⅲc(漸)	草	8425	1	8.0×5.0	34	0.85	やや 密集	檜1、彫2、楔2、 RF1、UF3、F7、 C10、磨1、礫器1、 石核2	頁安、粘、チ、黒、 凝頁、	1号炭化物集中と重複 1・2号土坑および2号炭 化物集中と隣接 爪形 文4



神奈川県における旧石器時代の遺物分布 (その2)

L1S ~ L1H 層の遺物分布 (その2-7)

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考 (共伴する遺構・ など)
116	南葛野	Ⅲa~ Ⅲc(漸)	草	8425	2	13.0×7.0	5	0.06	散漫	槍木1、植刃2、円搔 2	凝1、粘2、黒2	縄文早期末の遺物分布 と重複 爪形文3、捺糸 側面圧痕文2
116	南葛野	L1S	草	8425	3	0.25×0.1	3	120.00	密集	石核3	頁3	
116	南葛野	L1H層 下部~ B1層上 部	I	1323	3-S1	9.0×7.0	41	0.65	密集	ナ5、削1、石刃5、 石刃状F2、剥片 2、RF3、F17、C3、叩 1、石核1	黒35、チ1、硬砂1	
116	南葛野	L1H層 下部~ B1層上 部	I	1323	6-S1	8.5×4.0	59	1.74	やや 密集	ナ3、削1、石刃 1、RF5、F22、C27	黒59	I6-S2と接合
116	南葛野	L1H層 下部~ B1層上 部	I	1323	6-S2	9.0×6.5	350	5.98	密集	ナ22、削3、錐1、 石刃15、RF6、 F131、C168、石核 1	黒345、凝頁1、チ 1	I6-S1と接合
116	南葛野	L1H層 下部~ B1層上 部	I	1323	13-S1	8.0×5.6	7	0.16	散漫	RF1、F5、石核1	珪頁7	
118	慶應義塾藤 沢校地内	B0L~ L1HU	草1	38000	—	1.5×0.5	8	10.67	密集	削2、礫器1、F5	頁3、砂1、チ2、粘 2	
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL~ L1SU	草2	38000	A	28.3×22.5	353	0.55	密集	槍6、有15、削17、錐 1、楔2、礫器2、叩3、 石核1、F160、C39、 加工礫10	珪頁66、頁58、 泥33、砂23、凝 頁10、玄10、黒9、 チ2、凝泥8、蛇 7、凝6、浮石質 凝灰岩5、粘3、火 礫凝3、溶結凝3、 硬砂1、石閃1、花 閃1、角閃安1	B~D遺物集中部と隣 接 B遺物集中部と接 合あり 住居状遺構1、 ビット群1、炭化物集中 4 隆線文
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL~ L1SU	草2	38000	B	46.4×31.0	23	0.02	やや 散漫	有2、礫器1、磨石類 1、F17、C2	凝5、珪頁4、泥4、 頁3、砂3、黒1、 安1、輝緑凝灰 岩1、凝灰質泥岩 1	A・C・D遺物集中部と 隣接 A遺物集中部と 接合あり 住居状遺構 1、ビット群1、炭化物集 中4 隆線文
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL~ L1SU	草2	38000	C	36.8×15.9	9	0.02	やや 散漫	有4、F3、加工礫1	頁4、珪頁1、凝頁 1、凝泥1、安1	A・B・D遺物集中部と 隣接 住居状遺構1、 ビット群1、炭化物集中 4 隆線文
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL~ L1SU	草2	38000	D	22.4×14.2	5	0.02	密集	礫器1、F1、C2、加工 礫1	珪頁1、黒2、泥1、 閃緑玢岩1	A~C遺物集中部と隣 接 礫多量 住居状遺 構1、ビット群1、炭化物 集中4
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL~ L1SU	草2	38000	E	27.9×27.0	8	0.01	散漫	打斧5、F2	凝3、珪頁2、泥2、 頁1	住居状遺構1、ビット群 1、炭化物集中4
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL~ B0U	草2	53000	A	21.0×14.0	79	0.27	やや 密集	槍1、有2、打斧3、 削2、礫器3、台 1、F40、C16、加工礫 11	玄20、珪頁13、 頁13、凝11、泥 11、安4、凝灰質 砂岩4、石英閃 緑岩1、チ1、閃緑 玢岩1	3・4号炭化物集中と重 複 住居状遺構1、ビッ ト群1、炭化物集中4
118	慶應義塾藤 沢校地内	Ⅲb~ L1S	草2	53000	B	15.0×12.0	25	0.14	やや 密集	有1、打斧2、磨 1、F5、C15、石核1	粘8、頁6、珪頁6、 石英閃緑岩1、黒 1、硬頁1、チ1、安 1	住居状遺構と1・2号炭 化物集中と重複 住居 状遺構1、ビット群1、炭 化物集中4
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1SU ~漸	草2	53000	C	6.5×4.5	9	0.31	散漫	礫器2、叩1、F6	泥4、頁2、粘2、石 英閃緑岩1	住居状遺構1、ビット群 1、炭化物集中4
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL~ L1S	草2	53000	B	12.0×9.0	60	0.56	やや 密集	槍2、有2、削5、礫器 1、叩1、F22、C24、加 工礫3	珪頁22、頁20、 凝頁4、凝3、安3、 泥2、砂1、輝石安 1、粘1、チ1、硬砂 1、閃1	住居状遺構1、ビット群 1、炭化物集中4

L1S～L1H層の遺物分布（その2～8）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共存する遺構・ など）
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL～ 漸	草2	53000	C	32.5×21.0	5	0.01	やや 散漫	削2、磨1、F2	泥2、頁2、珪頁1、 凝灰質砂岩1	南東でD遺物集中部と 接する 住居状遺構1、 ビット群1、炭化物集中 4
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL～ L1SU	草2	53000	D	37.5×25.5	147	0.15	やや 密集	槍5、有6、削5、叩 1、F81、C35、石 核4、加工礫10	凝泥42、頁40、 珪頁16、泥11、 凝8、凝砂8、砂 6、安4、粘4、チ 3、玄3、凝頁1、 閃1	北西でC遺物集中部と 接する 南東側にビット 群あり 住居状遺構 1、ビット群1、炭化物集 中4
118	慶應義塾藤 沢校地内	ⅢbL～ L1SU	草2	53000	E	38.0×22.0	14	0.01	散漫	槍3、有1、削4、打斧 1、F5	珪頁1、頁6、泥3、 凝1、砂1、玄2	住居状遺構1、ビット群 1、炭化物集中4
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1SL	I	12308	1	4.2×3.6	12	0.79	やや 散漫	槍1、F12	凝1、凝頁9、珪頁 3	
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H U?	I	12308	2	2.6×2.5	4	0.62	散漫	MC1、F3	黒4	第3石器集中部と隣 接 第1・2礫集中部 と重複
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1HU	I	12308	3	2.8×2.6	6	0.82	散漫	F6	黒6	第2石器集中部と隣 接 第1・2礫集中部 と重複
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	I	12308	1	3.4×3.2	6	0.55	散漫	ナ2、RF1、F3	黒3	Fの石材は不明 炭化 物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	1	3.7×2.8	11	1.06	やや 散漫	ナ1、F10	黒11	第1礫集中部と重複 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	1	3.6×3.4	8	0.65	やや 散漫	RF1、F7	黒、珪頁	第1～3礫集中部と近接 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	2	6.4×5.4	66	1.91	密集	ナ1、叩1、F57、石核 7	黒、珪頁、硬砂	第3・5石器集中部と接 合あり 第1～3礫集 中部と近接 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	3	6.0×5.3	52	1.64	密集	ナ1、叩3、RF1、F44、 石核3	黒、チ、硬砂、珪頁 、砂質泥岩、凝頁	第2・4～6石器集中部 と接合あり 第1～3礫 集中部と近接 炭化物 集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	4	4.4×2.0	8	0.91	散漫	F8	黒4、珪頁4	第6石器集中部と接合 あり 第1～3礫集中部 と近接 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	5	6.6×5.8	112	2.93	密集	ナ3、RF2、F105、石 核2	頁、珪頁、凝頁、 黒	第2・3石器集中部と接 合あり 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	6	5.6×3.8	62	2.91	密集	ナ3、削2、RF1、 F53、石核3	黒、珪頁、頁、凝 頁	第3・4石器集中部と接 合あり 第5礫集中部 と近接 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	7	3.4×2.6	6	0.68	散漫	ナ1、削1、F4	黒6	炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	8	4.4×4.4	19	0.98	やや 散漫	ナ4、F15	黒19	炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	9	4.2×3.2	16	1.19	やや 密集	ナ4、RF2、F9、叩1	黒15、砂1	炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	10	6.4×6.2	59	1.49	密集	ナ5、RF2、F50、石 核2	黒、チ	炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	11	3.6×3.0	3	0.28	粗	F3	黒3	炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	12	8.6×6.8	120	2.05	密集	ナ2、RF3、F112、石 核3	黒、凝、チ、珪頁	炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	1	3.4×2.6	10	1.13	やや 密集	槍1、F9	黒、珪頁	第1礫集中部と近接 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	2	2.8×2.6	4	0.55	粗	F3、石核1	珪頁3、チ1	炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	3	3.2×2.5	4	0.55	粗	F4	黒、珪頁	炭化物集中



神奈川県における旧石器時代の遺物分布 (その2)

L1S～L1H層の遺物分布 (その2-9)

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考 (共存する遺構・ など)
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	4	2.6×2.6	3	0.44	粗	F3	珪頁	第3礫集中部と近接 炭化物集中
118	慶應義塾藤 沢校地内	L1H	II	12308	5	3.6×3.4	12	0.98	やや 散漫	F11、石核1	珪頁、珪、凝頁、黒 砂1	第3礫集中部と近接 炭化物集中
120	川尻	L1HM	III	1080	1	11.0×11.0	4	0.03	点在	檜4、UF2、RF1	珪1、黒4、珪頁 1、硬砂1	集中無し 礫群1
121	風間	B0	Ia	1100	1	9.4×6.2	91	1.56	散漫	檜14、搔・削4、 RF2、UF2、F65、 叩3、他1	珪61、珪泥14、ホ 9、安1、粘2、砂 3、他1	
121	風間	B0	Ia	1100	2	4.8×3.0	14	0.97	散漫	檜1、UF2、F11	珪10、ホ2、黒1、 粘1	
121	風間	B0	Ia	1100	3	10.0×8.4	36	0.43	散漫	檜6、搔・削3、 RF1、UF1、F24、 他1	珪17、珪泥1、凝 1、黒9、安2、ホ 5、他1	
121	風間	B0	Ia	1100	4	4.2×2.4	11	1.09	散漫	檜1、搔・削3、 RF2、UF1、F4	珪7、ホ1、凝2、砂 1	
121	風間	B0	Ib	1100	1	3.6×2.1	27	3.57	散漫	MB1、搔・削1、 礫1、叩10、磨 2、RF1、UF1、他1	珪泥1、凝2、ホ2、 粘1、珪3、黒6、 砂11	礫群①4.2×2.9m 礫59 (磨石・叩石含 む)
121	風間	B0	Ib	1100	2	3.1×2.0	67	10.81	やや 集中	ナ1、MB9、楔1、叩 7、核1、RF1、UF2、 F41、他4	凝2、ホ1、黒49、 砂11、他4	礫群②4.2×2.4m 礫 48 (石核・叩石含む)
121	風間	B0	Ib	1100	3	12.0×10.7	215	1.67	中央 集中	檜6、MB8、MC1、 楔4、搔・削 12、礫5、叩1、磨 5、RF7、UF23、 F116、核12、台 10、他5	珪泥6、泥1、凝 27、ホ12、安1、珪 75、黒52、砂 21、花崗15、他 5	礫群③12.2×8.5m 礫89 (剥片、石核、礫 器、磨石、台石転用含 む)
125	宮ヶ瀬大野 原	B0	II	500	1	6.0×5.0	42	1.40	散漫	礫1、RF2、 UF33、F5、台1	凝41、ホ1	配石
126	宮ヶ瀬中原	L1S	I	8900	—	80.0	2	—	点在	削1、礫1	黒1、凝	
126	宮ヶ瀬中原	B0	II	8900	1	4.5×1.8	19	2.30	散漫	礫3、叩2、F12、核 2	凝15、安3、石 英閃緑岩1	
127	宮ヶ瀬上原	B0	II	6300	—	14.0	2	—	点在	礫2	凝1、斑1	
127	宮ヶ瀬上原	L1HL	IV	6300	1	3.2×1.2	246	64.10	中央 密集	檜4、F3、C239	黒245、凝1	
127	宮ヶ瀬上原	L1HL	IV	6300	2	4.0×3.3	385	29.20	密集	檜2、RF1、F67、 C311、核4	黒154、ガ安 217、凝14	
127	宮ヶ瀬上原	L1HL	IV	6300	3	3.2×2.0	16	2.50	散漫	F9、C7	黒14、ガ安2	
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1S	I	5900	—	70.0×40.0	11	—	—	削1、礫7、叩1、F2	凝7、斑2、安1、 ホ1	
128	宮ヶ瀬 サザランケ	B0	IIa	5900	—	65.0×40.0	7	—	点在	礫4、叩2、F1	凝4、安2、黒頁 1	
128	宮ヶ瀬 サザランケ	B0	IIb	5900	1	5.0×4.0	221	11.10	密集	MB67、MC10、削 2、UF12、叩2、他 1	黒219、頁1、砂 1	
128	宮ヶ瀬 サザランケ	B0	IIb	5900	2	3.0×2.0	9	1.50	散漫	MC2、叩1、礫1、 F2、黒曜石原材 1、他	黒7、砂1、凝1	
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1HM	III	5900	1	6.0×4.0	1453	60.50	密集	檜20、RF1、 UF2、F354、 C1076	ガ安1178、凝 272、黒3	
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1HM	III	5900	2	3.5×3.0	728	69.30	—	檜12、礫1、台 1、RF2、F160、 C552	ガ安726、凝1、 安1	分布状況は3所に細分 可 礫群
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1HM	III	5900	3	2.6×2.3	155	25.90	炉址 中心 集中	檜8、削4、UF2、 F28、C112、磨痕 礫1	ガ安148、流1、 砂1	石囲炉、配石
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1HM	III	5900	4	3.3×1.6	483	91.50	密集	檜6、叩1、RF1、 F136、C339	ガ安297、凝頁 175、黒10、安1	石囲炉
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1HL	IV	5900	1	2.2×1.0	23	10.50	散漫	檜2、削1、叩2、 UF3、F8、C7	黒16、ガ安2、 凝3、斑2	

L1S～L1H層の遺物分布（その2－10）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (m)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共存する遺構・ など）
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1HL	IV	5900	2	3.0×1.8	155	28.70	やや 密集	槍4、UF3、F48、 C100	ガ安95、凝48、 黒4、斑5、頁3	
128	宮ヶ瀬 サザランケ	L1HL	IV	5900	3	2.7×1.6	441	102.10	密集	槍5、彫1、叩2、 RF3、UF1、F43、 C381、核5	黒234、ガ安 184、頁15、凝 7、斑1	
129	宮ヶ瀬北原 No.10・11北	L1S	—	3900	1	8.8×5.0	510	11.60	中央 密集	槍17、搔5、削4、 錐1、礫1、叩4、 RF2、UF7、核3、 他	凝287、ガ安 118、黒87、硬 頁7、チ5、ホ3、 他	礫群
129	宮ヶ瀬北原 No.10・11北	L1S	—	3900	2	5.0×3.5	102	5.80	やや 密集	槍8、搔2、礫1、磨 4、RF2、UF4、他	ガ安79、凝16、 黒3、他	礫群
129	宮ヶ瀬北原 No.10・11北	L1S	—	3900	3	5.0×4.0	180	9.00	密集	槍5、搔1、F・C174	ガ安166、黒 10、凝3、輝1	礫群 無文13
129	宮ヶ瀬北原 No.10・11北	L1S	—	3900	4	4.0×2.5	96	9.60	やや 密集	槍2、F・C94	ガ安93、黒2、 輝1	礫群
130	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1S	—	8000	—	80.0×10.0	3	—	点在	礫3	凝3	
131	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1SM	—	700	1	1.8×1.8	11	3.40	散漫	RF1、RP1、F8、 核1	凝10、粘1	
131	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1SM	—	700	2	1.4	2	—	点在	打斧1、叩1	凝2	
131	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1SM	—	700	3	1.0×0.3	6	20.00	直線 状に 分布	叩4、礫器素材2	凝6	
131	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1SM	—	700	4	6.0×3.2	111	5.80	密集	槍5、搔1、F72、 C32、礫1、叩1、礫 器素材2	ガ安94、凝15、 粘1、黒1	
131	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1SM	—	700	5	2.0×1.2	7	2.90	散漫	槍1、F4、C1、礫器 素材1	凝5、ガ安2	
131	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1SM	—	700	6	3.2×2.0	20	3.10	散漫	槍1、F14、叩3、磨 2	凝15、ガ安3、 粘2	
131	宮ヶ瀬馬場 No.6	L1SM	—	700	7	2.0×2.0	26	6.50	散漫	槍1、削1、礫1、 RF1、叩2、F20	凝23、ガ安2、 粘1	
132	宮ヶ瀬南	L1SM	—	11700	1	6.0×3.0	5	0.30	散漫	槍1、F1、叩1、礫 器素材2	凝4、ガ安1	
132	宮ヶ瀬南	L1SM	—	11700	2	5.0×5.0	147	5.90	密集	槍2、搔1、UF1、 F141、C2	粘121、ガ安 25、凝1	
132	宮ヶ瀬南	L1SM	—	11700	3	0.4×0.2	3	37.50	集積	叩3	凝3	
132	宮ヶ瀬南	L1SM	—	11700	4	5.0×3.0	10	0.70	散漫	礫1、台1、F8	凝7、ガ安3	
132	宮ヶ瀬南	L1SM	—	11700	5	2.0	2	—	点在	F2	凝2	
144	東大竹・ 山王塚	L1S～ B0	旧	150	1	7.7×6.0	—	—	密集	槍1、槍未1、槍調 整F1	不明	
144	東大竹・ 山王塚	L1S～ B0	旧	150	2	5.0×3.0	—	—	散漫	槍未2	不明	
154	谷津山神	B0	旧	180	1	7.0×8.0	88	1.57	密集	礫8、磨2、礫刃調整 F11、槌F1、調整 F49、F17	凝87、安1	
154	谷津山神	B0	旧	180	2	3.5×2.0	7	1.00	散漫	礫4、礫調整F3	凝7	
163	上粕屋・ 川上(第一東 海No.5)	B0	旧	99	1	11.0×9.0	353	3.57	密集	MB56、MC6、MC 原形1、MC打再 F4、MC調整F9、 削2、UF18、刃3、 F・C254	黒184、ガ流 91、ガ安23、珪 頁22、凝14、ホ 7、硬頁4、頁4、 チ3、斑1	
164	上粕屋・三 本松(第一東 海No.7)	B0	旧	73	1	4.6×3.5	17	1.06	散漫	MC3、MC打再 F1、MC調整F2、 RF2、UF1、F8	黒16、チ1	

神奈川県における旧石器時代の遺物分布（その2）

L1S～L1H層の遺物分布（その2－11）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共伴する遺構・ など）
165	上粕屋・上尾崎(第一東海No.10)	B0	II	50	1	5.0×10.0	10	0.20	散漫	MB1、礫3、RF3、MC調整F2、F1	黒6、凝2、ホ2	
165	上粕屋・上尾崎(第一東海No.10)	L1HL	III	150	1	10.0×15.0	23	0.15	散漫	槍2、槍調整F2、打再F1、刃5、F4、C9	黒23	
166	三ノ宮・下谷戸（第一東海No.14）	FB	I	6420	1	35.2×14.0	53696	108.96	密集	台16、F52714、有343、槍未1、鏃9、槍59、楔12、削5、礫13、RF295、UF82、核36、叩15、搔10、錐3、C1、調整F3、打斧2	凝818、安31、細安2、ガ安52311、閃44、斑10、輝18、ガ流6、石1、碧20、流2、黒40、砂15、硬砂7、頁30、チ48、珪頁26、ホ250、硬頁12、結1、泥1、粘3	土坑1、礫群9 無文58
166	三ノ宮・下谷戸（第一東海No.14）	FB	I	6420	2	51.0×10.0	209	0.41	散漫	台4、F162、槍1、楔1、核6、叩10、有1、搔2、礫5、RF8、UF1、鏃7、局磨1	凝11、ガ安142、泥1、粘1、砂11、ホ8、チ26、硬砂3、雲2、黒3、頁1	無文92
166	三ノ宮・下谷戸（第一東海No.14）	B0	III	6420	1	40.0×19.0	3977	5.23	密集	F2732、MB818、楔16、削7、錐2、RF110、彫1、UF47、核52、台10、叩7、凹1、礫8、MC34、調整F132	凝287、安12、細安2、ガ安1259、閃22、斑110、輝4、ガ流7、碧2、黒2183、砂1、硬頁17、珪頁14、チ17、ホ40	礫群1
166	三ノ宮・下谷戸（第一東海No.14）	B0	III	6420	2	51.0×15.0	33	0.04	散漫	MB7、MC1、調整F1、UF2、F21、搔1	黒32、チ1	
171	原口	漸	縄	59390	1	38.0×28.0	—	—	密集	槍、有、槍未他	ガ安、黒他	隆起線文
171	原口	漸	縄	59390	2	130.0×60.0	—	—	散漫	槍、有、槍未他	ガ安、黒他	隆起線文、爪形文、刺突文、多縄文系
171	原口	漸	縄	59390	3	5.0×1.0	—	—	散漫	槍	ガ安	
171	原口	漸	縄	59390	4	10.0×6.0	—	—	散漫	槍、F	ガ安、黒	
183	月見野ⅢA（相模野No.151）	L1H	—	156	a	7.0×9.0	約531	8.43	密集	ナ1、槍11、石刃11、搔1、彫1、核6、F・C約500	不明	大和市史7 508～510頁の記載に基づく
185	高座渋谷団地内	L1SL	I	820	1	5.5×3.8	4	0.19	散漫	F4	凝、黒、安	礫群1
185	高座渋谷団地内	L1HM	III	1520	1	4.6×2.0	7	0.76	散在	槍1、彫1、UF1、F3、核1	黒、凝、チャ、頁、ホ	礫群1
185	高座渋谷団地内	L1HM	III	1520	2	7.0	2	—	点在	F2	チャ	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	1	5.2×4.9	22	0.86	—	搔・削2、礫1、UF1、F16、核2	黒8、チ2、砂2、安6、玄1、泥3	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	2	11.2×6.9	35	0.45	—	槍2、搔・削2、RF3、UF1、F25、核2	黒1、チ2、凝1、安11、泥20	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	3	11.0×10.3	22	0.19	—	搔・削2、礫2、UF1、F15、核2	チ2、砂1、安4、泥15	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	4	3.8×1.5	13	2.28	—	F12、核1	凝7、安1、泥5	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	5	9.0×1.5	8	0.59	散漫	搔・削1、UF1、F6	黒1、安5、泥2	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	6	2.5×2.0	7	1.40	—	礫1、RF1、F4、叩1	黒2、砂2、泥1、他2	

L1S～L1H層の遺物分布（その2-12）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（相伴する遺構・ など）
216	下森鹿島	L1S	I	5900	7	2.2×1.0	6	2.73	散漫	礫1、F3、核1、叩1	砂1、安2、泥1、 他2	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	8	5.4×3.7	75	3.75	やや 集中	RF3、UF3、F64、 核4、叩1	チ1、凝3、砂3、 安22、泥44、他 2	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	9	7.8×4.4	65	1.89	—	槍1、搔・削1、礫 1、楔2、RF5、 UF1、F49、核5	黒4、チ6、凝 13、砂2、安14、 泥26	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	10	5.1×2.5	7	0.55	散漫	RF1、F4、核2	安1、泥5、他1	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	11	11.0×10.8	90	0.76	やや 散漫	搔・削4、礫1、楔 1、RF8、UF1、 F64、核7、叩2、台 2	黒1、チ3、凝 11、砂4、安22、 泥45、他4	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	12	5.4×3.7	93	4.65	密度 濃い	搔・削4、礫1、 RF5、UF2、F75、 核4、叩1	凝14、砂4、安 6、玄1、泥64、 他4	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	13	4.7×1.0	21	4.47	やや 集中	F20、核1	安5、玄1、泥 14、他1	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	14	5.2×3.0	30	1.92	—	搔・削2、UF1、 F20、核5、叩1、他 1	チ1、凝1、砂2、 安7、泥17、他2	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	15	3.7×2.6	8	0.83	散漫	搔・削1、RF1、 F5、核1	凝2、砂1、安2、 泥3	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	16	9.8×4.9	14	0.29	散漫	搔・削2、RF1、 F8、核1、礫1、台1	砂1、安6、泥7	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	17	1.4×0.8	5	4.46	—	F3、核2	チ1、凝1、砂1、 安1、泥1	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	18	11.5×7.8	29	0.32	散漫	槍1、搔・削2、 RF3、UF1、F16、 核5、叩1	黒1、チ2、凝1、 砂5、安5、玄1、 泥14	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	19	9.2×8.7	46	0.57	散漫	搔・削1、RF7、 UF1、F26、核6、 礫2、叩2、楔1	黒1、チ2、凝8、 砂4、安6、泥 24、他1	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	20	3.3×1.9	13	2.07	—	搔・削1、F11、核1	凝4、砂1、泥8	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	21	6.0×1.8	12	1.11	—	槍1、搔・削2、 RF1、F6、核2	チ1、凝1、砂1、 安3、泥6	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	22	1.5×0.7	9	8.57	—	RF1、F7、核1	泥9	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	23	7.4×3.3	22	0.90	やや 散漫	搔・削3、楔1、 RF3、UF2、F13	黒3、チ5、凝1、 安3、泥9、他1	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	24	2.2×0.4	5	5.68	—	搔・削1、UF1、F3	安3、泥2	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	25	5.6×2.8	11	0.70	やや 散漫	搔・削1、UF2、F8	チ1、凝4、安5、 玄1	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	26	15.0×9.9	28	0.19	散漫	槍1、搔・削7、 RF1、UF1、F15、 核2、礫1	黒8、チ1、凝3、 安6、泥10	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	27	11.3×6.8	11	0.14	散漫	搔・削1、RF1、 UF1、F5、核3	凝1、安2、玄1、 泥7	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	28	1.3×0.5	8	12.31	—	F8	泥8	
216	下森鹿島	L1S	I	5900	29	10.4×7.0	12	0.16	散漫	搔・削1、RF2、 F8、核1	黒1、チ2、安2、 泥7	
219	藤沢市 No.419	L1S	草	1864	1	4.6×1.4	11	1.71	散漫	槍2、削1、F6、C2	不明	
219	藤沢市 No.419	L1H～ B1U	I	124	1	7.6×3.6	35	1.28	やや 散漫	槍2、ナ2、ヲ5、 RF1、UF2、F14、 C8、石核1	黒、他	
219	藤沢市 No.419 第1地点	L1S	草	193	1	4.8×1.0	10	2.08	散漫	槍2、削1、F5、C2	凝5、ホ5	土坑2基が近接

神奈川県における旧石器時代の遺物分布 (その2)

L1S～L1H層の遺物分布 (その2 - 13)

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考 (共伴する遺構・ など)
219	藤沢市 No.419 第1地点	L1S～ B1	I	128	1	7.3×4.5	35	1.07	やや 散漫	槍1、ナ3、ヌ4、 RF1、UF3、F14、 C8、石核1	黒29、凝2、珪質 凝2、安2	
219	藤沢市 No.419 第5地点	L1HL	I	26.5	1	0.15×0.1	2	133.33	密集	刃1、F1	黒2	
243	本入こざつ 原	VI～VIII (漸)	I	6600	—	33.0×33.0	(19)	(0.02)	散漫	ナ1、槍1、有2、搔4、 削2、楔1、F7、UC1	黒11、瑪1、硬細 凝2、ガ黒安1、チ 3、碧1	
243	本入こざつ 原	L1S～ B0	II	324	—	8.2×6.5	123	2.31	密集	MC2、MB24、 ナ1、削1、楔1、 UF3、F7、UC2、 C77、叩1、加工痕 有礫4、打撃痕有 礫3	黒、115、中粒凝 6、砂2、ガ黒安1、 斑1、細粒安1	礫集中と重複 器種・ 石材組成は一部石器集 中外の資料を含む
325	月見野上野 第5地点	FB	I	790	1	—	2	—	疎	有舌1、F1	安1、凝1	
325	月見野上野 第5地点	B0	II	790	1	7.4×5.4	29	0.73	散漫	槍1、楔1、核4、 MC1、F16、C6	安、黒	第1号礫群
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	1	10.6×3.2	404	11.91	求心 的傾 向	槍4、磨石1、礫 1、核4、UF6、 RF19、F170、 C199	不明	第2号礫群 4・8Bと接 合資料 1～5・7～10B でI群を構成 ※3
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	2	8.0×5.0	195	4.88	求心 的傾 向	ナ1、槍4、礫2、核 1、UF2、RF9、 F70、C109	不明	3・4・5・7Bと接合資料 1～5・7～10BでI群を構 成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	3	6.0×5.2	137	4.39	やや 集中	槍4、叩1、磨石1、 核4、UF3、RF8、 F80、C36	不明	第6号礫群 2Bと接 合資料 上野6地点I 5・10Bと接合資料 1～ 5・7～10BでI群を構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	4	6.8×4.8	50	1.53	求心 的傾 向	槍3、磨石2、礫1、 RF2、F37、C5	不明	第4号礫群 1・2Bと接 合資料 上野6地点I 5Bと接合資料 1～5・7 ～10BでI群を構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	5	6.6×4.5	166	5.59	求心 的傾 向	ナ1、槍9、UF1、 RF13、F32、 C109	不明	1号礫群 1・2Bと接合 資料 第1～5・7～10B でI群を構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	6	9.2×6.0	15	0.27	散漫	核2、F11、C2	不明	第7・8号礫群 6・11Bで II群を構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	7	4.2×3.4	37	2.59	求心 的傾 向	ナ1、UF1、RF1、 F17、C17	不明	2Bと接合資料 1～5・7 ～10BでI群を構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	8	3.2×1.6	7	1.37	やや 散漫	ヌ1、F5、C1	不明	1Bと接合資料 1～5・7 ～10BでI群を構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	9	3.4×2.4	9	1.10	散在	F9	不明	第1～5・7～10BでI群を 構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	10	5.6×2.0	6	0.54	散漫	F5、C1	不明	第3号礫群 1～5・7～ 10BでI群を構成
325	月見野上野 第5地点	L1HU	III	790	11	2.7×0.8	3	1.39	点在	F3	不明	6・11BでII群を構成
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	1	7.1×3.2	378	16.64	密集	槍4、核1、MB2、 UF5、RF14、 F168、C184	安59、粘2、黒 114、チ17、頁 181、凝4、玄1	第10号礫群 3・4Bと 接合資料
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	2	7.6×5.0	72	1.89	散在	ナ1、槍1、核1、 UF3、F57、C9	安54、粘3、黒 4、チ2、砂3、凝 6	第3・8号礫群
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	3	5.4×4.0	220	10.19	—	槍2、礫1、MB1、 UF1、RF1、 F143、C71	安206、粘1、黒 6、砂2、頁2、凝 1、玄2	第3・5号礫群 1・7Bと 接合資料
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	4	6.6×4.7	52	1.68	散漫	槍3、核1、UF2、 RF4、F36、C6	安27、黒8、チ 8、頁4、凝3、流 2	1Bと接合資料

## L1S～L1H層の遺物分布（その2-14）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共存する遺構・ など）
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	5	5.2×5.0	67	2.58	散漫	槍4、礫2、台1、 RF1、F47、C12	安50、黒5、チ 2、砂1、頁2、凝 6、花1	8Bと接合資料 上野 第5地点Ⅲ3・4Bと接合 資料
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	6	4.7×3.4	29	1.81	—	槍2、礫1、RF1、 F20、C5	安25、粘1、凝 2、流1	第2号礫群
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	7	3.4×2.6	100	11.31	—	槍4、MB2、RF1、 F47、C46	安25、黒75	第7号礫群 3Bと接合 資料
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	8	3.0×2.2	11	1.67	—	槍1、台6、F4	安4、黒1、花6	第5号礫群 5Bと接合 資料
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	9	2.4×1.1	7	2.65	—	RF1、F4、C2	黒5、凝2	
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	10	3.2×1.8	4	0.69	—	槍1、核1、RF2	黒2、チ1、凝1	上野第5地点Ⅲ3Bと接 合資料
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	11	3.1×1.8	3	0.54	—	F3	安1、粘1、チ1	第4号礫群
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	12	0.6×0.2	3	25.00	—	核1、RF2	安1、凝1、花1	第1号礫群
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	13	0.6×0.1	3	50.00	—	槍1、F2	安3	第6号礫群と隣接
326	月見野上野 第6地点	L1HU ～M	I	859	14	2.2×1.9	5	1.20	—	UF1、RF1、F2、 C1	安1、黒3、頁1	
328	月見野上野 第12地点	B0	I	957	1	2.3×1.0	5	2.17	—	礫1、RF1、F3	凝3、ホ1、他1	
328	月見野上野 第12地点	B0	I	957	2	5.7×1.9	23	2.12	—	叩3、核1、MB1、 UF1、RF1、F16	砂1、頁11、凝 8、ホ1、流2	焼礫小破片散在 4・5Bとの剥片接合例あり
328	月見野上野 第12地点	B0	I	957	3	3.7×2.5	79	8.54	—	楔1、叩1、核4、 RF1、F72	安1、黒2、砂 19、頁1、凝11、 ホ14、流16、他 15	1号礫集中 3・5Bとの 剥片接合例あり
328	月見野上野 第12地点	B0	I	957	4	9.0×9.0	530	6.54	密度 高い	ス5、楔1、叩13、 打斧1、礫1、核 10、MB114、 MC16、MB打面 再生F2、UF7、 RF9、F351	安45、黒190、 チ7、砂9、頁 112、凝61、ホ 61、流28、他17	2号礫集中 3・4Bとの 剥片接合例あり
328	月見野上野 第12地点	B0	I	957	5	3.6×2.9	21	2.01	南部 やや 密度 高い	ス2、叩3、核1、 F15	安3、黒3、砂3、 頁1、凝3、ホ1、 流6、他1	焼礫小破片散在
328	月見野上野 第12地点	B0	I	957	6	2.3×0.8	9	4.89	—	礫5（同一個体）、 核1、F3	凝2、流1、閃6	
328	月見野上野 第12地点	L1HU	II	957	1	1.5×0.9	6	4.44	—	F6	凝3、ホ2、他1	2Bと共に調査区北側に 分布
328	月見野上野 第12地点	L1HU	II	957	2	4.6×3.2	20	1.36	—	槍3、削1、叩2、 UF1、RF3、F10	安6、黒2、砂1、 頁1、凝7、ホ2、 他1	1・2号礫群 1Bと共に 調査区北側に分布
328	月見野上野 第12地点	L1HU	II	957	3	3.9×2.3	32	3.57	—	叩1、磨石1、礫1、 核1、UF2、RF4、 F22	多安1、チ7、砂 2、頁5、凝15、 ホ1、流1	3号礫群 4～6Bと共 に調査区中央に分布4B と磨石接合例あり
328	月見野上野 第12地点	L1HU	II	957	4	2.7×1.3	18	5.13	—	叩1、磨石1、 UF1、F15	多安1、黒1、チ 7、砂1、頁2、凝 2、ホ4	4号礫群 3・5・6Bと共 に調査区中央に分布3B と磨石接合例あり
328	月見野上野 第12地点	L1HU	II	957	5	3.2×1.8	35	6.08	—	削1、UF1、RF3、 F30	安1、チ26、頁 2、凝1、ホ3、流 2	5・6号礫群 3・4・6Bと 共に調査区中央に分布
328	月見野上野 第12地点	L1HU	II	957	6	4.0×1.3	13	2.50	—	槍1、削1、RF2、 F9	安1、チ5、頁2、 凝1、ホ3、流1	3・4・6Bと共に調査区中 央に分布
328	月見野上野 第12地点	L1HU	II	957	7	5.3×2.8	73	4.92	—	槍2、RF1、F70	安1、頁70、ホ2	単独で調査区南側に分 布
331	横山5丁目	L1S	I	1098	1	4.0×3.4	22	1.62	散漫	ナ2、MB1、RF5、 F14	チ、黒頁、点数 不明	
335	用田鳥居前	L1S～ B0	草	1513	1	3.3×2.3	13	1.71	やや 粗い	削1、F12	ホ11、珪頁1、流1	



L1S～L1H層の遺物分布（その2 - 15）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共伴する遺構・ など）
335	用田鳥居前	L1S～ B0	草	1513	2	9.0×9.0	173	2.14	密集	槍8、両面調整石器 1、MC1、MB3、搔1、 削1、F145、C12、不 明1	ホ50、ガ黒安 38、軟細凝30、 硬細凝15、珪頁 15、硬頁9、黒頁 8、黒3、頁2、不明 3	
335	用田鳥居前	L1S～ L1H	I	1513	1	9.0×8.0	195	2.71	密集	MC1、MB63、 F57、C73、不明1	黒193、ガ黒安1、 珪質岩1	
335	用田鳥居前	L1S～ L1H	I	1513	2	9.0×6.0	277	5.13	密集	MC3、MB121、 F75、C76、礫器 1、不明1	黒263、硬細凝 13、ホ1	
335	用田鳥居前	L1S～ L1H	I	1513	3	13.0×7.0	18	0.20	散漫	MB1、F12、C3	黒8、細粒安5、角 閃2、ホ1	
336	葛原滝谷	Vic～ VII(漸)	草	8620	1	6.5×3.0	22	1.13	散漫	槍1、削2、F17	硬細凝10、ガ黒 安10	
336	葛原滝谷	L1S～ L1H	I	1045	1	4.0×4.0	33	2.06	散漫	削1、RF1、UF2、 F12、C17	黒31、硬細凝1、 玉1	
339	用田大河内	L1S～ L1H	I	1144	1	4.6×3.5	62	3.85	密集	MB10、削1、F35、 C12、礫器2、石核 2	黒24、中粒凝17、 硬細凝20、珪頁 1	
340	用田南原	L1H	II	1194	1	8.4×5.0	787	18.74	密集	槍31、F596、C160	ガ黒安785、細 粒安1、細粒凝 (玄)1	第3石器集中地点と接 合
340	用田南原	L1H	II	1194	2	3.5×2.4	15	1.79	散漫	槍1、F12、C2	ガ黒安8、中粒凝 5、粗粒凝1、砂1	第3石器集中地点と接 合
340	用田南原	L1H	II	1194	3	6.4×5.2	457	13.73	密集	槍16、F328、C109、 叩2、台1、不明1	ガ黒安446、中 粒凝4、粘2、黒1、 安1、細粒玄1、 珪質1、閃緑1	第3炭化物集中地点と 重複、第1・2・4石器集 中地点と接合
340	用田南原	L1H	II	1194	4	9.6×8.8	2468	29.21	密集	槍33、彫1、F1679、 C739、礫器1、叩2、 小礫13	ガ黒安2436、黒 7、中粒凝13、砂 3、硬頁1、頁1、富 士玄1、硬細凝 1、細粒凝1、粗粒 凝1、閃緑1、細粒 安1、ホ1	第3・4石器集中地点と 接合
340	用田南原	L1H	II	1194	5	5.7×5.6	689	21.59	密集	槍14、削1、F449、 C220、小礫5	ガ黒安680、細 粒凝3、黒2、硬細 凝1、中粒凝1、硬 頁1、角閃1	第4炭化物集中地点と 一部重複 第4石器集 中地点と接合
340	用田南原	L1H	II	1194	6	3.8×2.8	37	3.48	やや 散漫	槍2、F23、C11、小礫 1	ガ黒安34、黒1、 細粒凝1、不明1	第5炭化物集中地点と 一部重複
341	遠藤山崎	IIIc～ IV(漸)	草	4600	1	25.0×19.0	576	1.21	やや 密集	槍21、有5、錐6、 ノ33、楔33、彫1、 打斧3、礫器11、 叩8、凹4、磨8、 RF23、UF14、凝 灰岩剥片類302、 安山岩剥片類51、 剥片類41、石核6	凝413、安76、ホ 26、頁20、閃緑 18、チ13、砂4、黒 2、礫岩1、他3	細隆起線文を主体に 109点の土器が共伴
341	遠藤山崎	IIIc～ IV(漸)	草	4600	2	18.6×7.8	31	0.21	散漫	有1、ノ2、楔4、礫器 2、叩1、台1、F(凝灰 岩)8、F(安山岩) 1、F11	凝、安	無文部土器破片1点が 共伴
341	遠藤山崎	IIIc～ IV(漸)	草	4600	3	22.0×13.2	49	0.17	散漫	槍1、ノ1、礫器5、 叩2、磨1、F(凝灰 岩)24、F(安山岩) 3、F9、石核3	凝、安	
348	神明若宮地 区内	L1HU	I	706	1	2.2×1.2	8	3.03	散在	槍末3、UF1、F4	凝、ホ	

L1S～L1H層の遺物分布（その2－16）

遺跡 No.	遺跡名	出土 層位	文化 層	調査 面積 (㎡)	各集 中No.	分布範囲 (m)	石器 点数	分布 密度	分布 状態	器種組成	石材組成	備考（共伴する遺構・ など）
352	上土棚南第 3次	L1HM	1	2666	1	10.0×3.0	17	0.57	密集	ナ、核、F	不明	
352	上土棚南第 3次	L1HM	1	2666	2	6.0×2.0	11	0.92	散漫	楔、叩、F	不明	
352	上土棚南第 3次	L1HM	1	2666	3	6.0×6.0	37	1.03	密集	槍、ナ、削、RF、UF、F	不明	
352	上土棚南第 3次	L1HM	1	2666	4	11.0×6.0	71	1.08	密集	ナ、削、RF、磨、台、 核、F	不明	
352	上土棚南第 3次	L1HM	1	2666	5	7.0×7.0	50	1.02	密集	槍、ナ、F	不明	
354	下鶴間城山	L1SU ～M	I	22	1	1.1×0.3	3	9.09	－	槍2、F1	安3	第1号礫群
355	深見山王塚	L1S～ B0	－	74	－	2.4×1.0	7	2.92	－	RF1、F6	玄74	B0以下未調査、帰属文 化層特定不可
356	大和市No. 202第1 （月見野第 Ⅲ）	L1HU	I	172	1	1.5×0.8	3	2.50	－	槍1、核1、F1	ガ安1、凝1、硬頁 1	なし
357	下溝上谷開 戸	B0U	II	759	1	5.4×3.6	44	－	求心	MC1、礫2、叩1、 RF2、F33、C3	チ、安、凝、粘、 黒、ホ、砂、点 数不明	第3号礫群内在
357	下溝上谷開 戸	B0U	II	759	2	3.1×2.4	47	6.32	散漫	MB4、MC2、搔・ 削4、礫2、RF2、 UF4、F26、C5	チ、黒、凝、点 数不明	第2号礫群重複（図か ら）
357	下溝上谷開 戸	B0U	II	759	3	3.4×2.3	49	6.27	求心	MB2、F46、C1	チ、ホ、黒、点 数不明	第1号礫群重複
357	下溝上谷開 戸	B0	II	759	4	2.8×2.3	29	4.50	散漫	F26、C3	ホ、点数不明	第1号礫群重複
357	下溝上谷開 戸	B0	II	759	5	2.1×2.1	19	4.31	散漫	MC2、RF2、 UF1、F12、C2	チ、凝、安、点 数不明	
357	下溝上谷開 戸	L1SU	II	759	6	1.0	2	－	点在	MB1、F1	粘1、黒1	
357	下溝上谷開 戸	B0U	II	759	7	1.0	2	－	点在	F2	ホ2?	
357	下溝上谷開 戸	VI	II	759	8	2.0	2	－	点在	F2	チ1、黒1	
358	万福寺1	3L～ 5U	草	4500	草早 集中	16.0×5.0	3228	40.35	集中	有12、槍3、錐3、 ス16、調F38、石 核4、不明剥片石 器3、打斧8、礫4、 磨12、敲1、F1565	砂228、細砂 31、硬砂27、頁 621、黒頁646、 チ525、凝72、 シ23、泥11、斑 2、安6、石英閃 31、閃1、その他 43	被熱痕のある分割礫5 隆647、多縄文33、撚 糸203、沈線2、条痕 76、不明40
358	万福寺2	3L～ 5U	草	5500	集中	8.0×8.0	719	11.23	集中	有9、槍2、錐2、 ス3、調F10、打斧 4、礫2、棒状礫3、 F338	硬砂34、砂35、 頁162、黒頁 106、チ103、凝 51、その他25	礫146 隆194

※1 器種組成（ナ：ナイフ形石器・槍：槍先形尖頭器・搔：搔器・削：削器・彫：彫器・楔：楔形石器・叩：叩石・打斧：打製石斧・磨斧：磨製石斧・台：台石・核：石核・刃：刃器・MB：細石刃・MC：細石刃核・UF：使用痕ある剥片・RF：調整痕ある剥片）

※2 石 材（ガ安：ガラス質黒色安山岩・安：安山岩・角閃安：角閃石安山岩・粘：粘板岩・黒：黒曜石・チ：チャート・砂：砂岩・頁：頁岩・凝頁：凝灰質頁岩・凝：凝灰岩・硬細凝：硬質細粒凝灰岩・珪凝：珪質凝灰岩・火礫凝：火山礫凝灰岩・溶結凝：溶結凝灰岩・石閃：石英閃緑岩・花閃：花崗閃緑岩・泥：泥岩・ホ：ホルンフェルス・珪泥：珪質泥岩・硬砂：硬質砂岩・斑：斑礫岩）

※3 Bは石器ブロックを示す